

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年1月5日（第1版）

承認番号	25187
課題名	口腔扁平上皮癌における免疫関連分子の発現解析研究
研究期間	西暦 2026 年 3 月 11 日（実施許可日） ～ 2031 年 3 月 31 日
研究の対象	1977 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に当院で口腔扁平上皮癌の診断および治療を受けた方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、血液検査結果、病理組織学的診断結果、画像診断結果、臨床診断結果、治療内容、治療効果、再発の有無、生存状況 等）</p> <p>■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：口腔顎顔面領域、頸部リンパ節）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	<p>口の中や周囲にできるがん（口腔がん）は、頭や首にできるがん全体の約4割を占めており、その多くは扁平上皮癌という種類のがんです。口腔扁平上皮癌の治療には主に手術、放射線治療、抗がん剤治療があり、癌の進行度や全身状態などを考慮して、治療法が選択されています。これらの治療のみでは、十分な効果が得られない患者さんもおおり、近年ではがん免疫療法が注目されています。特に「免疫チェックポイント阻害剤」と呼ばれる薬剤は、免疫細胞ががんを攻撃しやすくする働きがありますが、すべての患者さんに十分な効果が得られるわけではなく、治療効果を高める方法が求められています。本研究では、口腔扁平上皮癌の患者さんから、診断のための生検や手術の際に採取された組織を用いて、がん細胞や免疫に関わるたんぱく質の発現を調べます。これらのたんぱく質が、治療の効果や生存期間などの臨床情報とどのように関係しているかを解析し、将来、より効果的ながん免疫療法の開発につなげることを目的としています。</p>
研究の方法	<p>検査や手術の時に採取した口腔扁平上皮癌の組織のうち、診断終了後の余った組織を使用して研究を行います。発現を調べたい分子に目印をつける試薬で組織を処理し、その発現程度を顕微鏡や検出機器で確認します。診療録（カルテ）から年齢、性別、既往歴、治療内容、再発や生存の有無などの記録を参照し、上記分子の発現との関連性を解析して、検証します。</p>
その他	特にありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支</p>

障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：旭川医科大学医学部歯科口腔外科学講座 矢島優己

〒078-8510

北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話：0166-68-2270（歯科口腔外科学講座医局直通）